

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：1歳児クラス)

モニカ緑が丘園

M  nica

テーマ

自然と光の関係性

設定理由

戸外活動において、自然物(葉、水、石、木の実等)に対して、直感的な興味を示していた。身近な光への興味も強く、自然素材と光の関係を体験することで、自然に対する豊かな感性をさらに育てていきたい。

対象クラス

1歳児クラス・6名

活動のねらい

自然と光の関係性を知る

問い

「どこが光っている？」 「何が見える？」

活動期間

令和7年8月～10月

活動回数

計3回

活動①

スタンドライトの光を感じる

環境構成

保育室内を薄暗くして、壁や白布に光や影が映るようにする。体や手足に光が当たることを感じる。

活動②

トレース台やライトで自然物を観察する

環境構成

身近な植物を用意し、自分で手に取り、トレース台で試せるようにする。
室内の観葉植物にライトを当て、白布に影が映るようにする。

活動③

自然物と光の関係性を知る

環境構成

身近な木々の画像をプロジェクターで白布に投影し、ミラーマットを画像の横に置く。
模造紙の上に木々の葉や枝を手に取りやすいように用意する。



お部屋を薄暗くして
白い壁と白いテーブル
そしてスタンドライト
のみの世界

ライトを包むように手
で握ってみる

おててが赤くなった



先生がテーブルの上に
ペンライトで光を当てた
テーブルに大きな手
触ってみたけど、つかめない

ここにも先生の手があった



私が持っているのと同じ
青色が壁に映ってる



葉っぱを動かすと、影も動く
お友だちが動くと、影も動く

光と影を感じた
不思議な時間

2025.8.7.

いつもとは違う保育室
そこにあるのは光と植物
思い思いに手に取り探究が始まる



友だちの服に植物の影が映っていたのを見て
私もやってみよう

ライトと植物の間に立つと
私の服に光があたる

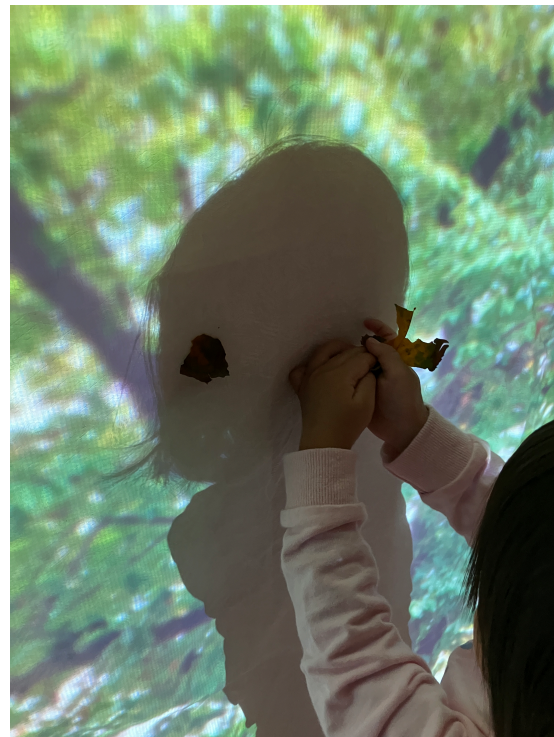


トレース台の上に散りばめられた葉
その上にアクリル積み木
後から来た子がその葉を取ろうとしたけど、取れない
どうするのかな...さらにアクリル積み木
の上に葉をのせて見ている

友だちの発想から
新たな姿やアイデアに出会う

R7.9.18





公園でいつもみている木
みんなで拾った落ち葉

あれ？触っても触れられない
葉をつけてみよう...ついた！
服に映っていた葉が見えなくなった...どうして？
手を動かすと木が見えなくなる
葉を木につけようとする、木が見えなくなる

振り向くと私の服に空が見える
どうしてだろう 不思議だね

2025.10.15

準備物

スタンドライト | 白布 | トレース台 | 身近な植物の写真 | パソコン | プロジェクター | 延長コード | ミラーマット | 植物暗幕 | 模造紙 | ペンライト

テーマ：自然と光の関係性

全体の振り返り

探究が始まった当初は、光の環境に対し戸惑う姿があった。日々の保育の中で光・使用する道具に触れる機会が増え、てくると探究活動に夢中になっていく様子があった。最初は、個々で光をあてたり、トレース台に乗せたりしてひとりひとりの探究だったが、回数を重ねるごとに友だちが行ってる探究を真似してみたり、一々所に集まり白布に映る自身の影や友だちの影に触れたりと一緒に探究活動に変化していったように感じる。一緒に探究活動をしていく中で子どもたちの発見が大人にとって予想外の気づきになることもあった。子どもたちが影に気づき関係性を構築し深めていく過程を側で感じたことで大人にとって当たり前なことでも子どもにとっては新鮮で真新しいことだということをも再認識できた。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ緑が丘園

〒152-0034
東京都目黒区緑が丘2-7-20
TEL:03-6421-1231
FAX:03-6421-1081